

喜多流 自主公演

平成二十七年 四月

西王母 佐々木宗生
西行桜 塩津哲生
葵上 笠井陸

平成27年 4月26日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階栈敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催 公益財団法人 十四世六平太記念財団 協力 喜多流職分会

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。

※平成27年度公演の前半5回分は発売中です。
後半5回分は平成27年9月1日午前10:00より発売します。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所での飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途チケットをご予約ください。追加料金はかかりません。ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。年間優待券のみでの観能はできません。ご入場の際は、年間優待券とチケットをご提示いただきます。
- ・ご利用は、平成27年度喜多流自主公演のみ有効です。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階栈敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

四月自主公演番組

能

シテツレ・侍女 佐々木多門
後シテ・西王母 佐々木宗生
前シテ・女

西王母

ワキ・穆王 宝生欣哉
ワキツレ・侍臣 則久英志
ワキツレ・侍臣 大日方寛
アイ・官人 大藏基誠

大鼓 亀井 実
小鼓 古賀裕己
笛 寺井久八郎

後見 友枝昭世
松井 彬

地謡 渡辺康喜 高林呻二
佐藤寛泰 栗谷明生
栗谷浩之 出雲康雅
佐藤陽 狩野了一

狂言

柑子

シテ・太郎冠者 大藏彌太郎

アド・主人 大藏千太郎

休憩(二十分)

能

シテ・老桜ノ精 塩津哲生

西行桜

ワキ・西行法師 宝生 閑
ワキツレ・花見の人 工藤和哉
ワキツレ・花見の人 高井松男
ワキツレ・花見の人 野口能弘
ワキツレ・花見の人 殿田謙吉
アイ・西行庵の能力 大藏教義

大鼓 國川 純 三島元太郎
小鼓 森澤勇司 一噌仙幸
太鼓 笛

後見 内田安信
金子匡一

地謡 佐藤陽 谷 大作
金子敬一郎 中村邦生
友枝雄人 香川靖嗣
大島輝久 長島 茂

休憩(十分)

仕舞

田村

内田安信

地謡 佐藤寛泰
大島輝久
内田成信
友枝真也

能

シテツレ・巫女 塩津圭介
シテ・六条御息所の怨霊 笠井 陸

葵上

ワキ・横川の小型 村瀬 慧
ワキツレ・大臣 矢野昌平
アイ・大臣内の者 吉田信海

大鼓 佃良太郎 太鼓 梶谷英樹
小鼓 亀井俊一 笛 藤田朝太郎

後見 粟谷幸雄
佐々木多門

地謡 高林昌司 佐藤章雄
友枝真也 大村 定
粟谷充雄 粟谷能夫
谷 友矩 内田成信

西王母(せいおうぼ)

周の穆王の時代、一人の女が三千年に一度だけ花が咲き実を結ぶ仙桃の花を帝王に捧げる。帝王は、西王母の園の桃花かと問うが、女はそれに答えず帝王の威光を言祝ぐ。帝王が不審に思つて尋ねると、女は西王母の分身であると答え、ひとまず仙界に帰り桃の実も捧げようと言つて天に上る。(ハ中人)

帝王が管絃を奏して待っていると、西王母が真の姿を現し桃の実を捧げ舞を舞い、喜びの酒宴に花も人も酔ううちに西王母は天上へと帰つて行く。

柑子(こうじ)

昨夜、ある人に御馳走になり、すっかり酔つてしまった主人は、何か土産を買つて太郎冠者に預けたが、それが何だったのか思い出せない。そこで太郎冠者を呼び出して何を貰つたのか尋ねる。それは、珍しい「三つなり(一つの枝に三つの実がなっている)の柑子(みかんの一種)」だったが、主人が自分にくれたものだと思ひ込んでいた太郎冠者は三つとも食べてしまった。困り果てた太郎冠者は言い訳に、平家転覆を因つて失敗し、硫黄島に流された俊寛僧都以下三人の昔語りを始める。

西行桜(さいぎょうざくら)

西行法師が京都西山で、庵の桜の花見を一人静かに楽しもうとしていたが、大勢の花見客が訪れる。一行がはるばる都から訪れたと聞き、花見客を招き入れたが、その騒がしさに俗界に引き戻される想ひに思はず「花見にと群れつつ人の来るのみぞあたら桜の科にはありける」と和歌を詠む。その夜、一行と桜の木の元で仮寝する。すると桜の木から老人が現れ西行法師の和歌について「桜の科」とされたことに抗議して桜に罪はないと述べる。そして老人は桜の精だと名乗り、桜の名所を数々あげその美しさを讃え、名残を惜しみつつ舞を舞つて夜明けとともに消えていくのだった。

葵上(あおいのうえ)

物の怪に取りつかれた葵上は、祈禱の甲斐もなく病床に臥していた。朱雀院に仕える臣下が葵上の病因を知るために、照日の巫女に梓の弓を弾じさせると、その音にひかれ「破れ車」のつた六条御息所の生霊が姿を現わす。

そして光源氏の心移りの失意を告白し、枕元により葵上を打ち、破れ車に乗せて連れ去ろうとする。容態が急変したので呼ばれた横川の小型は一心に祈る。すると鬼女となった六条御息所が現れ、小型を追い返そうと激しく争う。ついに鬼女は経文読誦に心を和らげて成仏するのであった。

平成二十七年 五月 自主公演番組予告

平成二十七年 五月二十四日(日) 正午始
十四世喜多平太記念能楽堂

弱法師 金子匡一
飛鳥川 出雲 康雅
是界 粟谷 浩之
白頭